

2019年7月11日

報道関係各位

GMOクラウド株式会社

「GMO 電子契約サービス Agree」 不動産・採用業務の完全電子化を促進する 署名順の管理や、大量採用における一括署名依頼が可能に

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社（代表取締役社長:青山 満 以下、GMO クラウド）は、契約の締結から管理までをワンストップで行えるクラウド型の電子契約サービス「GMO 電子契約サービス Agree（以下、GMO 電子契約 Agree）」（URL : <https://www.gmo-agree.com/>）において、不動産や採用業務の完全電子化を促進するべく、必要な以下の 3 つの機能追加を順次行い、2019 年 7 月 10 日（水）に完了しましたのでお知らせいたします。

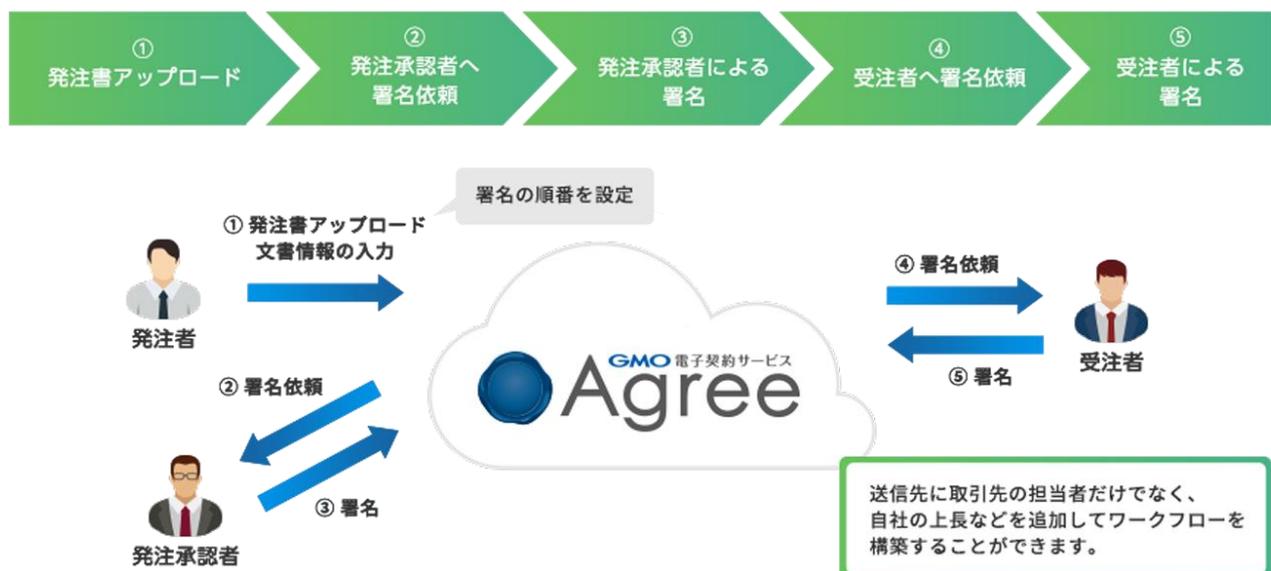
- (1) 契約文書への署名の順番を設定できる「署名順設定」（6月27日完了）
- (2) 雇用契約などのテンプレートにおいて、CSV を使用して契約相手ごとに異なる文言を差し込み、一括送信することができる「差込文書一括送信」（6月27日完了）
- (3) フリーテキストエリアに記載例などを設定することができる「入力ガイド」（7月10日完了）

【「GMO 電子契約 Agree」3つの新機能について】

■新機能 1：署名順設定

契約文書への署名の順番を設定できる「署名順設定」を追加いたしました。1 人目の署名が完了すると 2 人目に署名依頼が送信されるので、複数人の署名が必要な承認フローにおいて、書類の回覧がより円滑に行えます。また署名ステータスで進捗も一目で確認できます。例えば発注者の署名が完了してから受注者側に署名依頼を送信する「受発注書」や、賃貸借契約の「重要事項説明書」など、署名の順番が決まっている文書での活用が見込めます。

<使用イメージ>

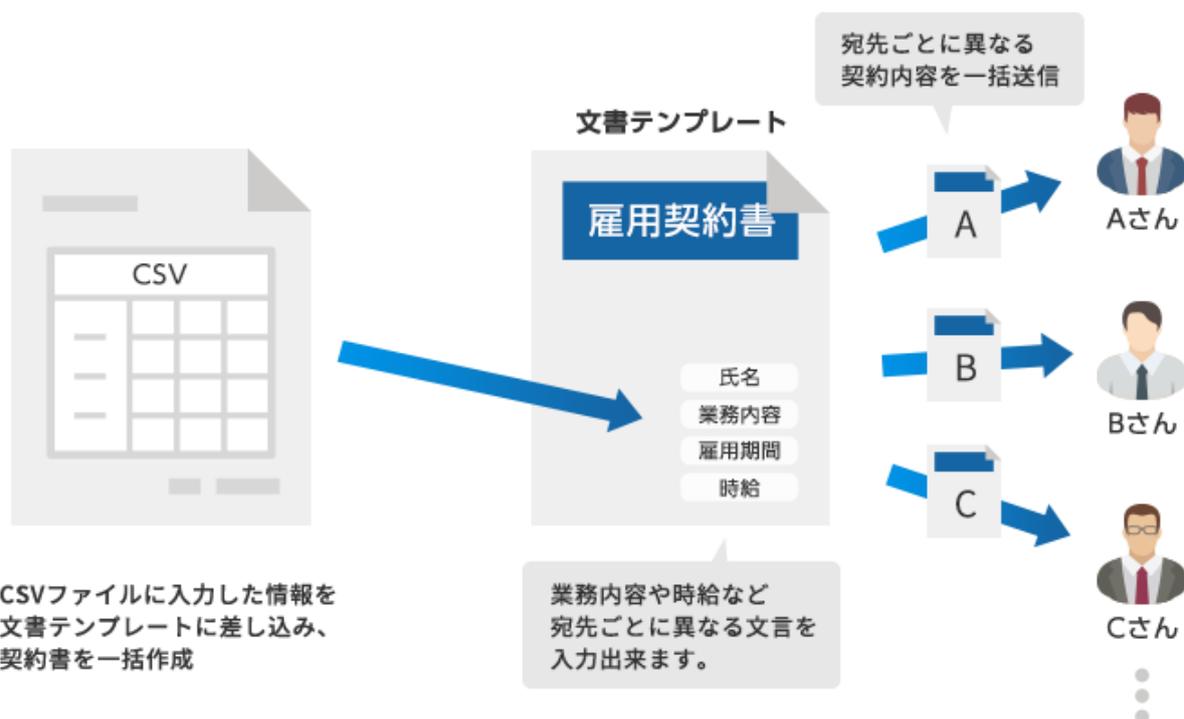


■新機能 2：差込文書一括送信

事前に登録している型の決まった文書テンプレートにおいて、住所や名前など契約相手ごとに異なる文言を差し込んで一括送信できる「差込文書一括送信」を追加いたしました。例えば、雇用契約のようにフォーマットは同じ場合、名前や住所を CSV でデータを取り込み、複数人でも一括で文書の作成・送信ができます。

これは、2019年4月に改正労働基準法施行規則の施行により「労働条件通知書」の電子化が解禁されたことを受け、電子契約の利用が増えている「雇用契約書」の締結シーンなどで活用いただける機能です。

<使用イメージ>



■新機能 3：入力ガイド

文書のフリーテキストエリアに「入力ガイド」を設定できるようになりました。契約を交わす文書において、契約者（受信者）に入力を求める場合、『住所をご記入ください』や『氏名をご記入ください』などのご案内のほか、実際の「記載例」を掲載できる機能です。入力項目が多く、入力内容も煩雑な場合に便利な機能です。

<操作画面>

文書署名

契約内容及び署名位置を確認のうえ、署名ボタンを押してください。

<p>第9条（準拠法） 本契約の準拠法は、日本国の法令とする。</p> <p>第10条（紛争の解決及び裁判管轄）</p> <ol style="list-style-type: none">本契約に関して紛争が生じたときは、甲及び乙は、相互の協力の精神にもとづき誠実に解決のための努力をしなければならない。本契約に関する訴えについては、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。他の裁判所について生じる法定管轄については、本条における合意をもって、これを排除する。 <p>以上、甲及び乙は、本契約の成立の証として本書を電子的に署名の上、各自保管する。</p> <p>(甲) 株式会社ABC 代表取締役 山田太郎 東京都渋谷区桜丘町2番1号</p>	<p>(乙)</p> <p>会社名をご記入ください</p> <p>氏名をご記入ください</p> <p>住所をご記入ください</p> <p>署名・押印</p>
---	--

署名

【「GMO 電子契約 Agree」について】(URL : <https://www.gmo-agree.com/>)

GMO クラウドが提供する「GMO 電子契約 Agree」は、契約の締結から管理までをワンストップで行えるクラウド型の電子契約サービスです。印紙税や郵送費の削減、契約締結にかかる手間の軽減や時間の大幅な短縮により、業務の効率化を実現することが可能です。国内シェア No.1^(※1) の電子認証サービスブランドで、アメリカやヨーロッパでも利用されている GMO グローバルサインの電子署名サービスと、GMO クラウドが 20 年間に渡って提供してきたホスティング・クラウドサービスの実績とノウハウを活かし、共同開発いたしました。

(※1) Netcraft 社の「SSL Survey」より(2019年3月時点)

【GMO クラウド株式会社とは】

1996年のサービス開始以来、ホスティング事業者として13万を超える法人のお客様のサーバー運用実績と国内およそ6,700社の販売代理店を有しています。2011年2月にクラウドソリューション「GMO クラウド」を立ち上げクラウドサービス事業に本格的に参入して以降、クラウド事業に軸を置いて国内のみならず世界へ向けてサービスを展開し、グローバル企業を含む多くの企業に最適なITインフラを提供しております。また、2007年より「GlobalSign」の電子認証サービスを、連結会社のGMO グローバルサイン株式会社を中心にベルギー、英国、米国、中国、シンガポール、フィリピン、インド、ロシア、ドバイの拠点よりグローバルに展開しております。

以上

ありがとうございます

サービス
ご利用

1000 万件
突破

GMO

GMOインターネットグループは、2019年3月にインターネットインフラサービスのご利用が1000万件を突破しました。インフラサービスは、ドメイン、クラウド・ホスティング、ショッピングカート、セキュリティ(SSL)、ネット決済の各分野で国内シェアNo.1です。

URL ▶ <https://www.gmo.jp/10million/>

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO クラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL : 03-6415-6100 FAX : 03-6415-6101
E-mail : pr@gmocloud.com
- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部
広報担当 石井・高橋
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO クラウド株式会社
「GMO 電子契約サービス Agree」運営事務局
TEL : 03-6415-7444
お問い合わせフォーム :
<https://www.gmo-agree.com/form/>

【GMO クラウド株式会社】 (URL : <https://ir.gmocloud.com/>)

会社名	GMOクラウド株式会社 (東証第一部 証券コード: 3788)
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 青山 満
事業内容	■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業
資本金	9億1,690万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMOインターネット株式会社 (東証第一部 証券コード: 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町26番1号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■仮想通貨事業
資本金	50億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2019 GMO CLOUD K. K. All Rights Reserved.